

210001・210011

透明テーブルタップ


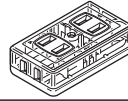
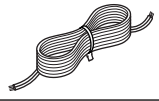
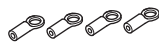
組立説明書

ナガタ産業株式会社

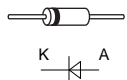
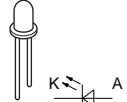

用意する
工具

はんだごて はんだごて台
スタビドライバ ニッパ
圧着ベンチ など

キット内容

品名	規格	形状	数量
透明プラグ	15A-125V		1
透明テーブルタップ	12A-125V 3個口		1
透明電源コード	VFF 1.25 × 2φ(50芯)		1
圧着端子	3.5-1.25		4
組立説明書	本書		1

LED付のキット(210011)は、以下の部品が付属しています。

品名	規格	形状	数量
整流用ダイオード	1N4002		1
LED	発光ダイオード 赤 5		1
抵抗	1/4W 22k		1



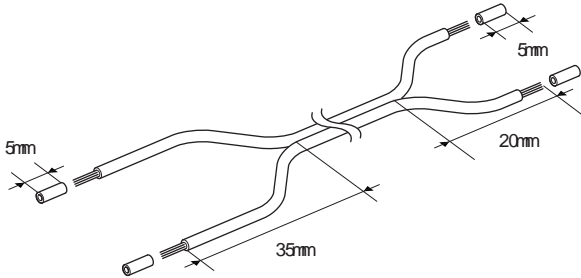
ビニールの被覆を取る練習をします。芯線を切ったり、傷をつけると、規定の電流容量が得られません。きれいに被覆だけを取る練習をしましょう。

まずビニール被覆をとるコツをつかもう

ビニール被覆の厚みの半分位づつ切り込みをいれ、コードを回転させながら徐々に切り込んでいきます。2~3回同じことを繰り返した後、切除部をニッパで引張って被覆を取ります。何度か練習してみましょう。

1

コードの片側を35mmさき、ビニール被覆をそれぞれ5mm取ります。次にコードのもう一方を20mmさき、ビニール被覆をそれぞれ5mm取ります。



注意

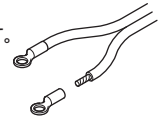
ビニール被覆をとる時に、芯線を切らないようにして下さい。

2

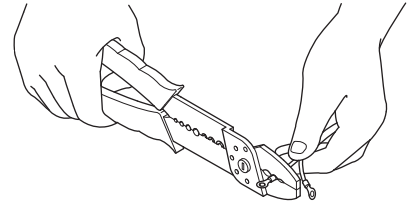
被覆をとったコードの先に4ヶ所圧着端子を取り付けます。

【端子付け加工】圧着端子の付け方

芯線をよじって端子を差し込みます。

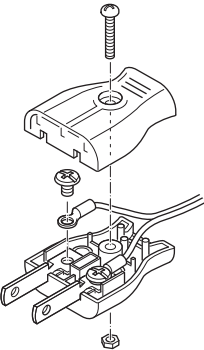


グリップの端を握ってカー杯締め付けます。



3

透明プラグを分解してプラグのネジを外し、20mmさいた側の圧着端子をスタビドライバできちんと締めつけます。

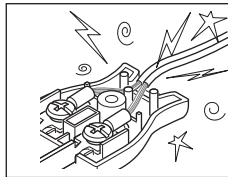


ドライバーの号数は2号を使用します。



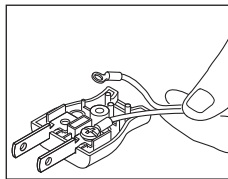
危険

右図のように、2本の芯線が接触するとコードが燃えたり、ろう電したりするので大変危険です。



引っ張りテスト

コードの片方づつ左右前後に引っ張って、ぐらつかなければ合格。もう一方も同じように組み込み、後にテストをします。



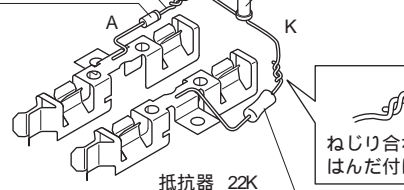
パイロットランプの取り付け (LED付の場合のみ)

テーブルタップのネジをゆるめてカバーを外し、金具を取り出して、下図のようにダイオード、発光ダイオード、抵抗をはんだづけします。ダイオードのKカソード、印の付いている側)と発光ダイオードのA(アノード、足の長い側)、発光ダイオードのKカソード)と抵抗をそれぞれはんだづけします。

出来上がった回路の両端を金具にはんだ付けします。

K印の付いている側) ダイオード 1N4002

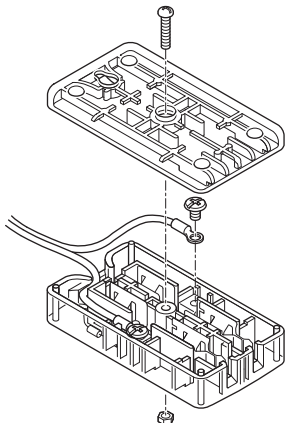
A足の長い側) 発光ダイオード



ねじり合わせてはんだ付けします

4

透明テーブルタップのネジをゆるめてカバーを外し、ネジを取り外して35mmにさいた側の圧着端子を取り付けます。



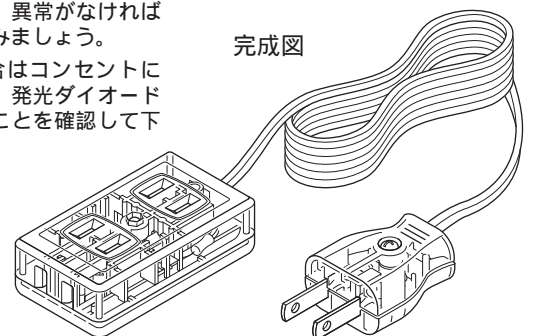
プラグと同様に引っ張りテストを行い、合格したら、元通りカバーをかぶせネジを締めます。

5

テスタを使って正常に導通しているか、絶縁できているかを確認して下さい。異常がなければ実際に使ってみましょう。

LED付の場合はコンセントに差し込んで、発光ダイオードが点灯することを確認して下さい。

完成図



ソケット3ヶ所の合計で、1,200まで使用可能です。